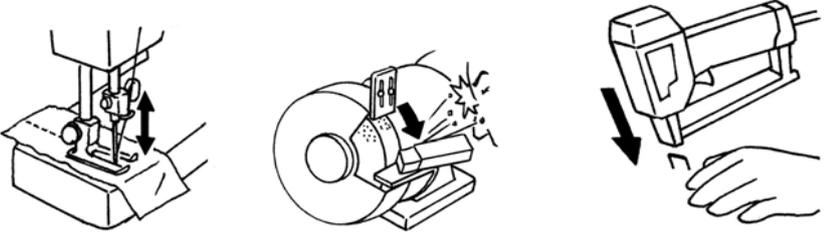
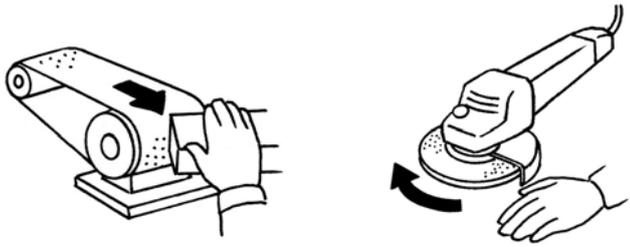
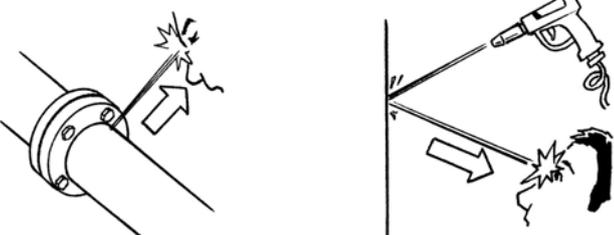


1.7	突き刺し又は突き通しの危険源	
基本図	具体例	
		

- ・飛散した砥粒や切り屑などもこの危険源である。
- ・事故の型：分類番号「9」 項目「踏み抜き」

1.8	こすれ又は擦りむきの危険源	
基本図	具体例	
		

- ・上図では砥石などのざらついた部分が動いているが、動かないざらついた部位も人が触れる可能性があるればこの危険源となる場合がある。
- ・事故の型：分類番号「8」 項目「切れ、こすれ」

1.9	高圧流体の注入又は噴出の危険源	
基本図	具体例	
		

- ・高圧の流体は、ウォータージェット切削加工のような物にも利用されるほどで、危険源になる。
- ・事故の型：分類番号「4」 項目「飛来、落下」

注：「事故の型 分類番号と項目」は、「労働災害分類の手引き—統計処理のための原因要素分析—」（労働省安全課編、中央労働災害防止協会発行）を参考に追記した。

索引 本マニュアルで使用される主要な用語と記述項番号 五十音順

ア行

安全防護	4-4 項
安全関連部	5-1-3 項
安全性能カテゴリ	5-3-2 項

カ行

機械	2-2-3 項	(参考) 機械安全の基本
機械の意図する使用	4-6-1 項	
危害	3-2-1 項	
危険源	3-2-1 項	
危険状態	3-2-1 項	
危険事象	3-2-1 項	
合理的に予見可能な誤使用	3-1 項	

サ行

残留リスク	4-6-2 項
使用上の情報	4-6 項
制限仕様	3 項

タ行

同定	3-2-1 項
----	---------

ナ行

ハ行

ばく露	
付加保護方策	4-5 項
保護方策	4-1 項
本質的安全設計方策	4-3 項

マ行

ヤ行

ラ行

リスク 2-1 項

リスクアセスメント 2-1 項

ワ行